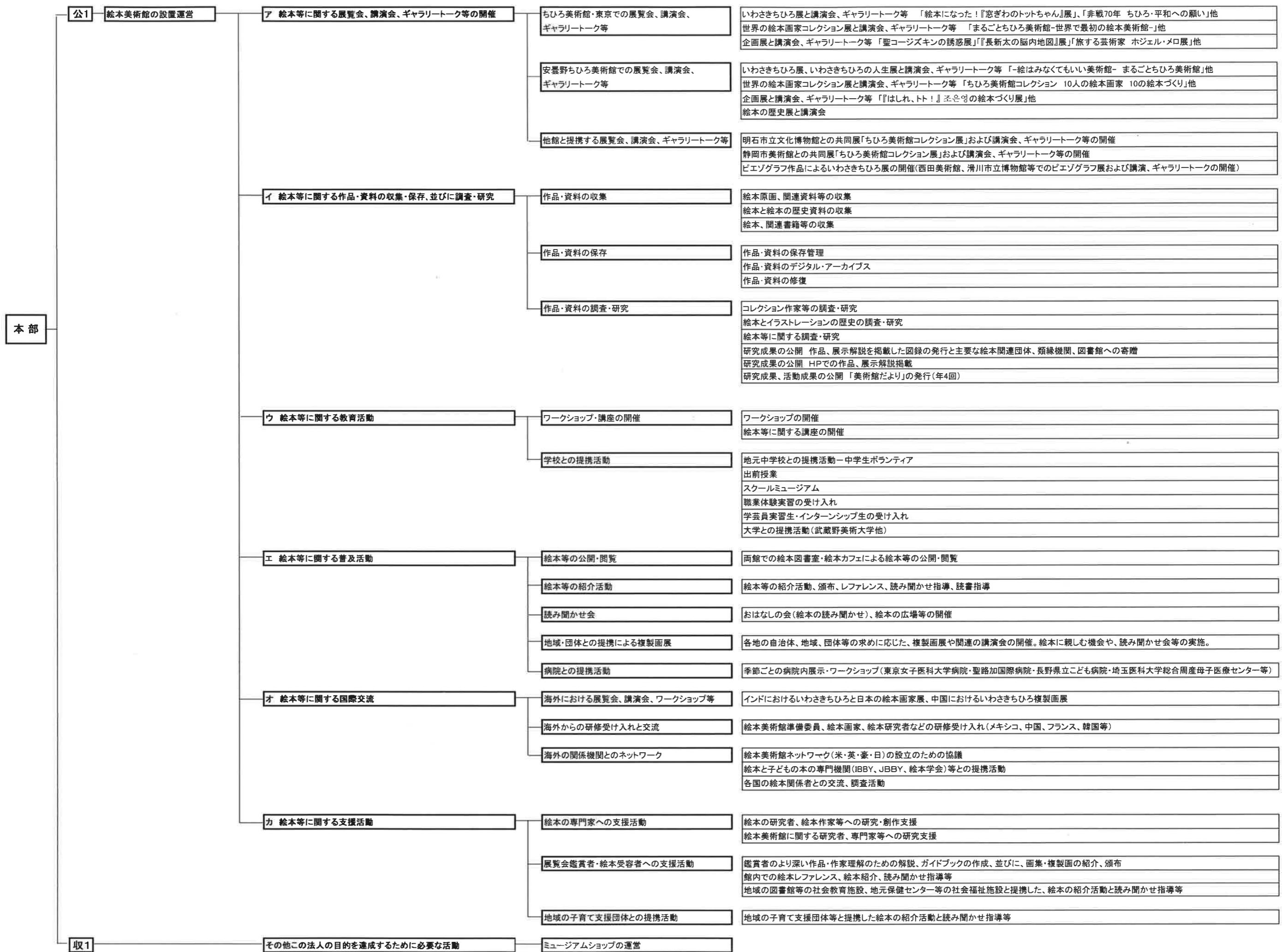


2015（平成27）年度 事業報告書

2015（平成27）年4月1日～2016（平成28）年3月31日

| | | |
|----|--------------------------|---------|
| I | 2015年度事業報告 事業の体系図 | 1 |
| II | 2015年度事業報告一覧 | 2 |

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団



■2015(平成27)年度事業報告 活動一覧

| 事業 | 個別事業名 | 実施内容 | 参加者数 (入館者数) | 備考(実施日、回数、その他 実績) | 実施場所 |
|--------------------------------------|---|---|----------------|----------------------|-----------|
| ア 絵本等に関する展覧会、講演会、ギャラリートーク等の開催 | | | | | |
| ちひろ美術館・東京での展覧会、講演会、ギャラリートーク等 | | | | | |
| 【ちひろ展】 | 絵本になった!『窓ぎわのトトちゃん』展 | なにもかもがユニークな小学校・トモエ学園での日々をつづった黒柳徹子の自伝的物語『窓ぎわのトトちゃん』。絵本に収録されたちひろの絵を、戦争の時代にも夢を抱いてたくましく生きたトトちゃんの物語とともに展示し、ちひろと黒柳徹子に共通する子どものしあわせと平和への願いを、トトちゃんの物語を通して見つめなおした。(出展作品59点 資料27点) | 11,925名 | 3月1日～5月24日 | ちひろ美術館・東京 |
| | ちひろの本棚 | ちひろのアトリエの本棚には、文芸書や美術書、図鑑、世界の文化地理大系等、ちひろの好みやインスピレーションのもとが垣間見えるさまざまな本がある。本棚をひもとき、ちひろの絵と、本との関わりを探った。(出展作品60点、資料50点) | 11,937名 | 5月27日～8月2日 | ちひろ美術館・東京 |
| | 非戦70年 ちひろ・平和への願い | 第二次世界大戦終戦から70年。ちひろが手がけた戦争をテーマにした絵本のほか、いのちの輝きをとらえたあかちゃんや子どもの作品を展示し、ちひろが子どもを通して語ろうとした平和への願いに迫った。(出展作品55点 資料9点) | 12,725名 | 8月5日～10月25日 | ちひろ美術館・東京 |
| | まるごとちひろ美術館—世界で最初の絵本美術館— いわさきちひろ | 1977年に世界初の絵本美術館として東京・練馬のちひろの自宅跡地に開館したちひろ美術館・東京(当時はいわさきちひろ絵本美術館)。本展では、さまざまな角度から“まるごと”ちひろ美術館を紹介した。その一部として、「絵本づくり」「あかちゃん」「子どもたちに平和を」など7つのテーマでちひろの作品を選び、その魅力を多角的に紹介した。(出展作品53点 資料7点) | 11,584名 | 10月28日～2016年1月31日 | ちひろ美術館・東京 |
| 【世界の絵本画家コレクション展】 | まるごとちひろ美術館—世界で最初の絵本美術館— 世界の絵本画家 | 「まるごとちひろ美術館」展の一部として、ちひろ美術館コレクションのなかから、世界の絵本画家、日本の絵本画家の代表的な作品を展示了。(出展作品55点 資料6点) | 11,584名 | 10月28日～2016年1月31日 | ちひろ美術館・東京 |
| 【企画展】 | 聖コージズキンの誘惑展 | 奇想天外な発想とダイナミックな描写で高い人気を博しているスズキコージの幅広い創作活動の世界を、絵本画家としての活動に焦点をあてながら、現代美術の作品創作と重なる部分を含め紹介した。本展では、デビュー作『ゆきむすめ』(世界文化社)から新作に至るまで、各年代を代表する絵本原画を展示するとともに、即興的に描く“ライブペインティング”から生まれた巨大な作品(約2×5m)、画家としての原点ともいえる若き日のスケッチブック等も紹介した。(出展作品166点、資料23点) | 11,925名 | 3月1日～5月24日 | ちひろ美術館・東京 |
| | 没後10年「長新太の脳内地図」展 | 独特的のユーモアとナンセンスで漫画や絵本に新境地を切り開いた長新太が亡くなつて今年で10年。本展では「イマジネーション」と「センスとナンセンス」の二部構成で10のテーマから、絵本原画、漫画、イラストレーションなどを展示し、迷宮のように広がる長新太の脳内を案内するように展示了。(出展作品151点、資料26点) | 11,937名 | 5月27日～8月2日 | ちひろ美術館・東京 |
| | 日ブラジル外交関係樹立120周年 旅する芸術家 ホジェル・メロ展 | 南米の画家として初めて国際アンデルセン賞画家賞を受賞したブラジルのホジェル・メロ。ブラジルの自然や祭り、社会問題等さまざまな題材を、自在に変化する技法と鮮やかな色彩で描き出した自作の絵本原画の数々と資料、身の回りのもの等を展示了。(出展作品109点、資料19点) | 12,725名 | 8月5日～10月25日 | ちひろ美術館・東京 |
| | まるごとちひろ美術館—世界で最初の絵本美術館— 「内藤廣によるちひろ美術館の建築」「ちひろ美術館の歩み」 | 「まるごとちひろ美術館」展の一部として、内藤廣によるちひろ美術館の建築を、模型や図面、写真パネル等の資料を用いて紹介した。(模型15点 資料15点)また、ちひろ美術館の開館以来の歩みを写真や図面、展覧会関連資料等で紹介した。 | 11,584名 | 10月28日～2016年1月31日 | ちひろ美術館・東京 |
| 【講演会】 | 聖コージズキンの誘惑展 関連企画 対談 スズキコージ × 松本猛 | 幅広く活動しているスズキコージの素顔と作品の魅力について、絵本学会会長でもある常任顧問・松本猛とスズキコージが、巨大な絵で埋め尽くされた展示空間のなか、画家の哲学やあふれるエネルギーの源について語り合った。 | 60名 | 2月27日 | ちひろ美術館・東京 |
| | ちひろ・平和への願い展示関連企画 高畠勲講演会 「いわさきちひろの絵が語るもの」 | アニメーション映画監督の高畠勲が、ちひろの絵と、その背後にある命や平和の尊さについて語った。 | 57名 | 9月27日 | ちひろ美術館・東京 |
| | まるごとちひろ美術館展関連企画 対談 松本猛 × 高橋明也 「ちひろ美術館のコレクションの魅力」 | 世界で初めての絵本専門美術館として開館したちひろ美術館。美術館の歩みとコレクションの魅力について、ちひろ美術館創設者のひとりでいわさきちひろの息子の松本猛と、三菱一号館美術館館長の高橋明也が、コレクション収集の苦労話などを交えながら語った。 | 23名 | 11月4日 | ちひろ美術館・東京 |
| | まるごとちひろ美術館展関連企画 対談 内藤廣 × 面出薰 「ちひろ美術館の建築と照明」 | ちひろ美術館(東京・安曇野)の建物を設計した建築家・内藤廣と照明計画を担当した照明デザイナー・面出薰が建物の魅力について語った。 | 75名 | 12月5日 | ちひろ美術館・東京 |
| 【ギャラリートーク】 | 松本猛によるギャラリートーク | いわさきちひろの息子である松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見どころ等を語った。 | 各回20～30名 | 3月8日、6月7日、8月8日、11月1日 | ちひろ美術館・東京 |
| | 展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク | 開催中の各展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説した。 | 各回10～20名 | 毎月第1、3土曜日 | ちひろ美術館・東京 |
| 安曇野ちひろ美術館での展覧会、講演会、ギャラリートーク等 | | | | | |
| 【ちひろ展】 | —絵はみなくていい美術館— まるごとちひろ美術館 いわさきちひろ | ちひろ美術館・東京の開館20周年にあたる1997年に、ちひろの心のふるさとである信州に誕生した安曇野ちひろ美術館。自然豊かな環境に身を置き、心を解放するなかで、美術への新たな感動と出会うことができる場所である。本展では、世界最大規模の絵本原画コレクションのなかから、いわさきちひろ、世界と日本の絵本画家たちの代表作を含め、魅力的な作品の数々を展示了。ちひろ展では、約9,500点の遺作のなかから、「子どもをみつめて」「ちひろのあかちゃん」「四季を描いて」など7つのテーマから、ちひろの魅力を多角的に紹介した。(出展作品80点、資料21点) | 21,876名 | 3月1日～5月12日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | <戦後70年特別企画> I ちひろ・非戦の誓い | 第二次世界大戦が終結してから、2015年で70年を迎えた。日本はかつての侵略と支配の歴史を反省し、この70年間を非戦の国として歩んできた。しかし、世界では戦争やテロなどが絶えず、多くの子どもたちが生命の危機と著しい貧困に苦しめられている。そしていま、日本は再び戦争への道を歩み出すのではないかと危惧される。本期では、3つの展示を通じ、いわさきちひろと、日本と世界の絵本画家たちが、子どものしあわせと平和への願いを込めて描いた作品の数々を紹介した。ちひろ展では、「戦火のなかの子どもたち」「ちひろの人生」「いのちの輝き」「母性の画家」の4つの章を通して、「世界中のこどもみんなに平和としあわせを」ということばに象徴されるちひろの願いに迫った。展示室2では、原爆を描いたちひろの絵本とともに、丸木俊、司修が同じテーマで描いた絵本を特別出展した。(出展作品73点、資料17点) | 22,748名 | 5月15日～7月14日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | —はじめてみる、ちひろの世界。— いわさきちひろ×佐藤卓=展 | 現代を代表するグラフィックデザイナー・佐藤卓。本展では、世代を越えて愛されてきたちひろの絵を、佐藤卓がプロデュースした。ちひろの絵の新しい見方を提示する「佐藤卓が選んだ、ちひろの絵」、佐藤のデザインを紹介する「佐藤卓のデザイン採集」のほか、ちひろの絵を素材に佐藤卓が実験的な試みを行ったコラボレーション作品も展示了。また、ワークショップ「ちひろの線とコラボレーション」「ちひろの絵と箱(ハコ)コラボレーション」を開催、参加型の試みも行った。佐藤卓が介入することで、ちひろの既成概念が取り払われ、普遍的な存在だと思われてきたその絵のもつ新たな魅力が開かれた。(出展作品ちひろ72点、佐藤卓作品20点コラボレーション作品39点) | 58,779名 | 7月17日～9月23日 | 安曇野ちひろ美術館 |

| 事業 | 個別事業名 | 実施内容 | 参加者数 (入館者数) | 備考(実施日、回数、その他 実績) | 実施場所 |
|----------------------------|--|---|----------------|----------------------|-------------------|
| 【ちひろ展】 | ちひろを語るこの一点 「ぶどうを持つ少女」の魅力 | ちひろの代表作のひとつである「ぶどうを持つ少女」。28年の画業のなかで残した約9,500点にのぼる作品群のなかでも、この作品は高い人気を誇っている。本展では、「ぶどうを持つ少女」を手がかりに、「ちひろの紫」「帽子」「手のしぐさ」「横顔」「ぶどうを持つ少女を描いた時代—1973年の仕事—」「省略の美」の6つのテーマから、ちひろの表現の魅力を掘り下げた。(出展作品64点、資料13点) | 29,163名 | 9月26日～11月30日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | ちひろの人生 | ゆかりの品々や素描・スケッチをはじめ、影響を受けた画家の作品等を展示するとともに、ちひろの人生を紹介するパネルや生前を知る人たちの証言映像等により、ちひろの人間像を伝えた。 | | 通年 | 安曇野ちひろ美術館 |
| 【世界の絵本画家コレクション展】 | 一絵はみなくてもいい美術館－まるごとちひろ美術館 世界の絵本画家 | 「まるごとちひろ美術館」展のひとつとして、コレクション作品を、世界の絵本画家、日本の絵本画家、若手絵本画家の3部に分け、約140点の作品を展示了。(出展作品137点) | 21,876名 | 3月1日～5月12日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | <戦後70年特別企画> II ちひろ美術館コレクション 世界の絵本画家から未来を生きる子どもたちへ | 戦争の世紀といわれた20世紀を経て、戦争のない時代を願って迎えた21世紀も、世界各地で紛争や内戦が続き、多くの子どもたちが傷つき、いのちを落としている。本展では、平和を願う世界の絵本画家たちのメッセージとともに、その作品を紹介した。(出展作品34点) | 22,748名 | 5月15日～7月14日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | ちひろ美術館コレクション 衣装あれこれ！？世界の絵本展 | 絵のなかに描かれたさまざまな衣装からは、趣向を凝らして描いた画家の個性とともに、国や民族それぞれの文化が見えてくる。本展では、衣装に焦点をあてて、「世界の民族衣装」「服を着た動物たち」「空想世界のコスチューム」「モダンなファッション」の4つのテーマから、世界各国の絵本画家の作品を紹介した。(出展作品94点) | 58,779名 | 7月17日～9月23日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | ちひろ美術館コレクション 10人の絵本画家 10の絵本づくり | 本展では、コレクション作品のなかから、個性際立つ10人の絵本画家—日本の赤羽末吉、長新太、谷内こうた、西村繁男、武田美穂、フランスのエリック・バトゥー、スロヴァキアのヤナ・キセロヴァー・シテコヴァー、チェコのクヴィエタ・パツオウスカー、ロシアのユーリー・ノルシュティン&フランチスカ・ヤールブソワ、アメリカのエリック・カーラーを選び、十人十色の絵本づくりを紹介した。(出展作品56点、資料18点) | 29,163名 | 9月26日～11月30日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | 絵本の歴史 | 死者の書や時祷書、絵巻物から20世紀初頭の絵本にいたるまで、絵本とイラストレーションの歴史に関わる作品・資料を、「手書き本の時代」「版本の時代」「子どもの本の時代(印刷本)」の3つの時代に分け、紹介した。 | | 通年 | 安曇野ちひろ美術館 |
| 【企画展】 | 一絵はみなくてもいい美術館－まるごとちひろ美術館 内藤廣によるちひろ美術館の建築 | 安曇野ちひろ美術館の設計は、1993年夏に行われたプロポーザルコンペにより、内藤廣があたることになった。いわさきちひろや絵本の世界にふさわしい、親しみやすい空間をどうしたら作り出すことができるかをテーマに、いくつもの提案が重ねられ、試行錯誤が繰り返された。ここでは、現代を代表する建築家・内藤廣によるちひろ美術館の建築を、模型や資料を用いて紹介した。(模型15点 資料15点) | 21,876名 | 3月1日～5月12日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | <戦後70年特別企画> III 戦争を描いた日本の絵本展 | 戦後70年を機に、戦争とはなにか、平和とはなにかを、日本で出版された絵本を通して考える展示を開催した。本展では、1990年代以降に出版された絵本のなかから、戦争をテーマにした12冊の絵本を紹介。それらを大別すると、戦争という概念をテーマにしたものと、実際に起きた戦争を元にしているものに分けられる。作家独自の視点から、見るものに戦争の本質と平和について語りかけてくる作品を、作家たちが絵本に寄せたメッセージとともに展示了。(出展作品69点、資料 52点) | 22,748名 | 5月15日～7月14日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | 『はしれ、トト！』 チョ・ウンヨンの絵本づくり展 | 韓国の絵本画家チョ・ウンヨンは、デビュー作『はしれ、トト！』で、馬が好きな少女の競馬場での一日を描き、ブラティスラヴァ世界絵本原画展グランプリに輝いた。本展では、絵本原画とともに、制作過程の資料を展示し、画家の大膽な絵本づくりを紹介した。(出展作品139点、資料 約60点) | 29,163名 | 9月26日～11月30日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| 【講演会】 | まるごとちひろ美術館展関連企画 「建築家・内藤廣が語るちひろ美術館」 | ちひろ美術館(東京・安曇野)を設計した建築家・内藤廣が、その建築の魅力を語った。 | 70名 | 4月18日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | ちひろ・非戦の誓い関連企画 「写真家・石川文洋 平和を語る」 一講演会＆ドキュメンタリー映画上映会一 | ベトナム戦争の報道写真等で知られる報道写真家・石川文洋が、ちひろが『戦火のなかの子どもたち』に込めた平和への願いにも通じる、自身の平和に対する想いを語った。あわせて、ドキュメンタリー映画「石川文洋を旅する」の上映会を、松川村・9条の会との共催で行なった。 | 86名 | 7月4日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| 【ギャラリートーク】 | 展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク | 開催中の展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説した。 | | 毎月第2、4土曜日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | 佐藤卓によるアーティストトーク | いわさきちひろ×佐藤卓=展の開催を記念し、同氏による本展の見どころや作品の魅力を伝えるアーティストトークを行った。 | 30名 | 7月17日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | ギャラリートーク 「チョ・ウンヨン 自作を語る」 | 開催中のチョ・ウンヨン展にあわせて来館した画家自身が、絵本制作秘話や作品解説のトークを行った。(通訳付) | 28名 | 10月10日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| 他館と提携する展覧会、講演会、ギャラリートーク等 | | | | | |
| 【展覧会】 | 夏休み特別企画展 ちひろ美術館コレクション ちひろと世界の絵本画家たち | ちひろ美術館コレクションから、いわさきちひろのほか、国際アンデルセン賞画家賞やBIBなどの受賞者を含む世界18か国52名の作品約120点を展示、紹介した。 | 20,350名 | 8月1日～8月30日 | 明石市立文化博物館 |
| | ちひろ美術館絵本原画コレクション展 絵本をひらくと | ちひろ美術館コレクションから、いわさきちひろ、赤羽末吉、長新太、茂田井武を中心に、日本人作家16人、海外作家32人、合わせて48人にのぼる絵本画家の作品、約189点を紹介。展覧会図録も作成した。 | 41,836名 | 10月10日～11月23日 | 静岡市美術館 |
| | ピエゾグラフによるいわさきちひろ展 | ピエゾグラフによる複製画展を開催希望自治体、団体、施設と協力して行った。 | 4,000名 | 4月17日～5月24日 | 西田美術館 |
| | いわさきちひろ複製画展 秋のいろどり | ちひろの秋をテーマに、信州ゆかりの作品(ピエゾグラフ・複製画)31点を展出した。 | 2,639名 | 7月26日～8月30日 | 滑川市立博物館/滑川市こども図書館 |
| | 北アルプスの麓から今年もやってきました！安曇野アートライン展 | 安曇野アートライン推進協議会の事業として本展が開催され、いわさきちひろのピエゾグラフ作品を展出した。 | 2,034名 | 10月17日～11月23日 | 公益財団法人ギャラリーエークワッド |
| 【他館で開催される展覧会へのコレクション作品の出展】 | 化け物展 | 長新太の『はんぶんタヌキ』19点を展出した。 | | 8月1日～9月13日 | 青森県立美術館 |
| | 生誕100年 亀倉雄策と『クリエイション』 | クヴィエタ・パツオウスカー作品5点を展出した。 | | 11月14日～2016年1月17日 | 新潟県立近代美術館 |
| | こどもたちのモダンライフ—1920-30年代児童雑誌の原画展 | 岡本帰一作品4点、清水良雄作品5点を展出した。 | | 11月10日～12月5日 | 城西国際水田大学水田美術館 |
| | まど・みちおのうちゅう | 長新太作品11点を展出した。 | | 11月13日～2016年1月17日 | 周南市美術博物館 |
| | ビアズリーと日本 | 茂田井武作品4点を展出した。 | | 12月6日～2016年1月31日 | 宇都宮美術館 |
| | ビアズリーと日本 | 茂田井武作品4点を展出した。 | | 2016年2月6日～3月27日 | 滋賀県立近代美術館 |
| | 茂田井武展 | 茂田井武作品69点を展出した。 | | 12月3日～2016年2月22日 | イルフ童画館 |
| | 講演会「ちひろ美術館とコレクション」 | 講師・竹迫祐子 | 70名 | 8月1日 | 明石市立文化博物館 |
| | 講演会「母、いわさきちひろとその芸術」 | 講師・松本猛 | 81名 | 8月9日 | 明石市立文化博物館 |

| 事業 | 個別事業名 | 実施内容 | 参加者数 (入館者数) | 備考(実施日、回数、その他 実績) | 実施場所 |
|--------------------------------------|--|--|---------------------|--|-------------------|
| 【講演会】 | 講演会「絵本の読み方—世界の絵本画家とちひろの絵」 | 講師・松本猛 | 110名 | 10月10日 | 静岡市美術館 |
| | 講演会「いわさきちひろの絵と人生」 | 講師・竹迫祐子 | 40名 | 4月17日 | 西田美術館 |
| | 講演会「いわさきちひろと安曇野」 | 講師・竹迫祐子 | 19名 | 2016年3月12日 | 銀座NAGANO |
| 【ギャラリートーク】 【ワークショップ】 | ギャラリートーク | 講師・竹迫祐子、宍倉恵美子 | 30名 | 4月17日 | 西田美術館 |
| | にじみ体験ワークショップ | 講師・長井瑠子 | 25名 | 11月23日 | 公益財団法人ギャラリーエークワッド |
| | おはなしの会 | 講師・長井瑠子 | 21名 | 11月23日 | 公益財団法人ギャラリーエークワッド |
| イ 絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに調査・研究 | | | | | |
| 作品・資料の収集 | 絵本原画、関連資料等の収集 | いわさきちひろ76点(購入1点・寄贈75点) 世界の絵本画家38点(寄贈38点)を新規に収藏した。 | 新規収蔵作品 計114点 | 通年。 コレクション総数26,875点 いわさきちひろ9,522点 世界の絵本画家作品:33の国と地 域203名による17,353点 | 両館 |
| | 絵本と絵本の歴史資料の収集 | 時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本の資料・絵本の歴史資料の収集を進めた。 | | 通年 | 両館 |
| | 絵本、関連書籍等の収集 | 優れた芸術性を持ち、魅力的な絵本の収集を進めた。 | 新規入庫書籍 計977点 | 通年 | 両館 |
| 作品・資料の保存 | 作品・資料の保存管理 | 絵本原画を中心とした収蔵作品の適切な保存管理を行なうとともに、画像データベース等での作品管理を進めた。 | | 通年 | 両館 |
| | 作品・資料のデジタル・アーカイブス | 支持体、画材とも脆弱な水彩画である、いわさきちひろ作品のデジタル・アーカイブスを進めた。 | 新規アーカイブス 計31点 | 通年。アーカイブス総数:470点 | 両館 |
| | 作品・資料の修復 | 長新太作品6点、赤羽末吉作品1点の修復を行った。 | | 随時 | 両館 |
| 作品・資料の調査・研究 | コレクション作家等の調査・研究 | 展示等にあわせて、コレクション作品の表現・技法、作家の人生、芸術観、時代背景等について、調査・研究を行い、調査資料のドキュメンテーションを進めた。 | | 通年 | 両館 |
| | | いわさきちひろの両親、岩崎正勝・文江の往復書簡等について、古文書の専門家の協力を得て解読を行い、研究を進めた。 | 全58通 | | 両館 |
| | | いわさきちひろのゆかりの地である、中国東北部大連、ハルビン、勃利、長春で調査を行った。(5月 中平洋子 10月 竹迫祐子) | | 5月24日～29日、10月13日～19日 | 中国 東北部 |
| | 絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究 | 展示等にあわせて、絵本とイラストレーションの歴史に関する調査・研究を進めた。 | | 通年 | 両館 |
| | | 絵本等に関する調査・研究 | | | |
| | 研究結果の公開 作品、展示解説を掲載した図録の発行と主要な絵本関連団体、類縁機関、図書館への寄贈 | 調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、「美術館だより」や図録、HPを通じて公開した。また、それら「美術館だより」、図録等は、絵本関連団体、類縁機関、国際子ども図書館等の主要な図書館へ寄贈した。 | | 通年 | 両館 |
| | 研究成果の公開 HPでの作品、展示解説掲載 | 調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、HPに掲載した。 | | 通年 | 両館 |
| | 研究成果、活動成果の公開 「美術館だより」の発行(年4回) | 研究や活動の成果を、展示紹介、活動紹介等にまとめ、年4回発行する「美術館だより」やHPを通じて、公開した。 | 各館ごとに年4回・ 計8回の発行 | 通年 | 両館 |
| ウ 絵本等に関する教育活動 | | | | | |
| ワークショップ・講座の開催 | ガーデントーク ちひろの庭の花めぐり | 「ちひろの庭」を中心に、作品との関連やいわさきちひろが愛した草花等のエピソードを四季折々に紹介した。 | 約20名 | 3月29日 | ちひろ美術館・東京 |
| | ちひろの水彩技法ワークショップ | いわさきちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行った。 | 計423名 | 3月15日、6月21日、7月24日・25日、8月23日、2016年1月2日・3日 | ちひろ美術館・東京 |
| | 親子で楽しむ文化講座1. わらべうたあそび | 0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、わらべうたあそびの会を開催した。 | 計112名 | 4月4日、7月4日、9月5日、11月7日 | ちひろ美術館・東京 |
| | 親子で楽しむ文化講座2. おもちゃのひろば | 3歳以上の未就学児とその保護者を対象に、良質なおもちゃとその遊び方を紹介。親子で実際にふれあい、遊ぶことを通じて、豊かな時間を共有した。 | 計57名 | 4月12日、10月4日、2016年1月17日 | ちひろ美術館・東京 |
| | 『子どもにつたえる日本国憲法』関連講座 「ママさん弁護士が語る 子どもの未来と憲法」 | 子どもたちの未来を守るために知っておきたい憲法の話を、弁護士・武井由起子(明日の自由を守る若手弁護士の会)が語った。 | 64名 | 4月19日 | ちひろ美術館・東京 |
| | 絵本と本の読書会 | 絵本や展示関連の図書を参加者が読み込んだうえで、感想を語り合い、絵本や展覧会の理解を深めた。 | 6名 | 4月26日、6月14日 | ちひろ美術館・東京 |
| | 長新太展関連イベント「アートテラーとに～が語る長新太の魅力」 | 美術の魅力をわかりやすく伝えるアートテラーとに～が、独自の視点から長新太の魅力を語った。 | 52名 | 7月26日 | ちひろ美術館・東京 |
| | ホジエル・メロ展関連イベント「メロ&ボッサ」 | ブラジルの画家ホジエル・メロの作品を、同氏の中に息づく音楽・ボサノヴァとともに楽しむ演奏会を行った。出演:臼田道成 | 50名 | 9月5日 | ちひろ美術館・東京 |
| | ドキュメンタリー映画「いわさきちひろ～27歳の旅立ち～」上映会 | 2012年に劇場公開されたドキュメンタリー映画「いわさきちひろ～27歳の旅立ち～」が、今夏にDVD化されたことを記念し、作品の背後にある画家いわさきちひろの人生に触れ、作品世界をより深く知つてもらう機会として、上映会を行った。 | 計89名 | 10月2日、11月14日、12月15日 | ちひろ美術館・東京 |
| | ちひろ美術館・東京 たてもの探検ツアー | ちひろ美術館・東京の開館記念日にちなみ、館の内外をめぐりながら、建物にまつわるエピソードや、そこに込められた思いを紹介した。 | 計40名 | 11月29日、12月20日 | ちひろ美術館・東京 |
| | まるごとちひろ美術館ワークショップ | ちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使ったワークショップや、コレクション作家の技法を使ったワークショップを行なった。 | 13名 | 4月11日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | いわさきちひろ×佐藤卓=展関連ワークショップ「ちひろの絵と箱(ハコ)ラボレーション」 | 中学生ボランティアのサポートのもと、オリジナルの箱をキャンバスに見立て、ちひろの絵と「何か」を組み合わせたコラボレーション作品を作成した。 | 380名 | 7月29日～8月16日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | いわさきちひろ×佐藤卓=展関連ワークショップ「ちひろの線とコラボレーション」 | 展示会期中、ちひろの絵のなかから抜き出した線に、自由に線を描きこんで作品にするワークショップを行った。投稿された作品は、額装して展覧会のなかで紹介した。 | 6,122名 | 7月17日～9月23日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | ちひろの水彩技法ワークショップ | いわさきちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行った。 | 43名 | 8月20日・21日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | チョ・ウンヨン展関連イベント「チョ・ウンヨンと絵本を楽しもう」 | 『はしれ、トト！』の画家自身による読み聞かせや、本作の翻訳者・広松由希子による、翻訳版の出版に至るまでの裏話などを交えたトークが行われた。 | 18名 | 10月10日・11日 | 安曇野ちひろ美術館 |

| 事業 | 個別事業名 | 実施内容 | 参加者数 (入館者数) | 備考(実施日、回数、その他 実績) | 実施場所 |
|----------|-----------------------------------|---|--------------------|--|---|
| | チョ・ウンヨン展関連イベント「チョ・ウンヨンによるワークショップ」 | チョ・ウンヨンの絵本作りの技法を使ったワークショップを、松川村図書館との共催で行なった。 | 16名 | 10月11日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | ちひろの絵による『窓ぎわのトトちゃん』関連活動 | ちひろの絵が数多く掲載されている『窓ぎわのトトちゃん』から様々なエピソードを元に、関連したワークショップ等を、地域の方々や地元の学校の協力を得て開催した。 | 計 約220名 | 4月29日、5月23日、6月6日、7月11日、8月9日、8月29日、9月22日、10月25日、11月8日 | 安曇野ちひろ美術館 他 |
| | 来館団体への各種教育プログラム | 団体鑑賞に際し、希望の団体には、スライドトークやギャラリートーク、水彩技法ワークショップ、読み聞かせなどの教育プログラムを行なった。また、特別支援学校や朗読ボランティア等の団体にも、プログラムを工夫しながら対応を行なった。 | 5団体60名 22団体693名 | 7月11日、8月5日、11月12日、12月17日、2016年1月28日 4月23日、5月12日、5月22日、6月13日、6月27日、7月1日、7月2日他 | ちひろ美術館・東京 安曇野ちひろ美術館 |
| 学校との提携活動 | 地元中学校との提携活動－中学生ボランティア | 松川中学校と連携して中学生ボランティアを育成するための研修を行ない、夏休み期間中には、来館者を対象にした、当館での「ちひろの絵と箱(ハコ)ラボレーション」ワークショップ、「ちひろの線とコラボレーション」ワークショップ作品の額装と展示作業、展示解説、絵本の読み聞かせ等の活動を行なった。 | 184名 | 6月8日～8月16日 | 安曇野ちひろ美術館、松川中学校 |
| | 松川中学校での佐藤卓講演会 | 松川中学校全校生徒を対象に、「いわさきちひろ×佐藤卓＝展」をプロデュースしたグラフィックデザイナー・佐藤卓の講演会を行なった。 | 307名 | 7月17日 | 松川中学校 |
| | 出前授業 | いわさきちひろや、ちひろの技法について、学校等に出向いて出前授業を企画、実施した。 | 2校96名 5校1施設236名 | 6月17日、18日、20日 8月26日 6月6日 7月8日 9月26日 12月7日 12月10日 3月20日 | 杉並区立三谷小学校 練馬区立大泉北中学校 松川小学校 才教学園小学校 松本県ヶ丘高校 木曾中学校 奈川小学校 練馬区武石少年自然の家 |
| | スクールミュージアム | 長野県下の希望校を対象に、展覧会の作り方を指導、複製画等の貸し出しを行い、生徒の力で展覧会が開催できるよう生徒キュレーターの育成を行った。 | 1校 | 9月27日～10月5日 | 大桑中学校 |
| | 教員向け内見会・内見週間の開催 | 教員を対象とする内見会・内見週間を開催、博学連携の活動を行った。 | 1回、計18名 2回、計42名 | 8月5日～12日 8月1日～8月9日、11月14日～11月23日 | ちひろ美術館・東京 安曇野ちひろ美術館 |
| | 職場体験実習の受け入れ | 練馬区近辺、松川村近辺の中学校・高等学校からの職場体験実習を受け入れ、美術館業務を体験してもらい、博学連携の活動とした。(東京館：練馬区立石神井南中学校2名、練馬区立石神井中学校2名、練馬区立開進第三中学校2名、練馬区立上石神井中学校2名、都立深沢高校2名、練馬区立区立光が丘第三中学1名、小金井市立緑中学校2名/安曇野館：大町市立仁科台中学校1名、松川村立松川中学校2名、大町市立美麻中学校2名) | 7校、13名 3校、5名 | 6月25日・26日、7月9日・10日、7月23日・24日、10月1日・2日、11月18日～20日、11月27日、2016年1月20日～22日 9月3日・4日、9月10日、10月29日 | ちひろ美術館・東京 安曇野ちひろ美術館 |
| | 学芸員実習生、インターンシップ生の受け入れ | 学芸員実習生の受け入れ(安曇野館：信州大学、成安造形大学、一橋大学、愛知大学)と、インターンシップ生の受け入れ(東京館：浦和大学1名、武蔵野美術大学2名／安曇野館：武蔵野美術大学2名)を行った。 | 2校、3名 5校、6名 | インターナンシップ 夏：8月20日～27日、冬：12月24日～2月27日のうち20時間 学芸員実習 9月23日～30日 インターナンシップ 7月28日～8月18日 | ちひろ美術館・東京 安曇野ちひろ美術館 |

工 絵本等に関する普及活動

| | | | | | |
|------------------|--|--|----------------------------------|----------------------------|---|
| 絵本等の公開・閲覧 | 両館での絵本図書室・絵本カフェによる絵本の公開・閲覧 | 長きに渡って愛され続ける絵本とともに、新刊等幅広い国内外の絵本を、絵本の専門美術館としての視点で選書し、芸術性に優れた魅力的な絵本を配架し、両館の絵本図書室・絵本カフェ等での閲覧に供した。 | | 通年 | 両館 |
| 絵本等の紹介活動 | コレクション作家・企画展作家・その他の世界の絵本作家の絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読み聞かせ指導、読書指導 | 当館の視点で選書した国内外の絵本を、絵本図書室、HP等で紹介、普及、頒布するほか、どのような絵本を選べばよいのか、どのように読めばよいのか等々、来館者をはじめ、幅広い求めに応じて、適宜、選書や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、日々の暮らしの中で身近に絵本が楽しめるよう支援を行った。 | | 通年 | 両館 |
| 読み聞かせ会 | おはなしの会(絵本の読み聞かせ)、絵本の広場等の開催 | 絵本の理解を深め、展示鑑賞をより充実したものとするため、両館それぞれで、定期的に絵本の読み聞かせ会を開催した。また同様に、学校・保育園等からの団体鑑賞に際して、読み聞かせを行った。 | 22回、延べ361名 35回(内、団体13件)延べ876名 | 毎月第2、4土曜日 他 毎月第2、4土曜日 他 | ちひろ美術館・東京 安曇野ちひろ美術館 |
| 地域・団体との提携による複製画展 | 各地の自治体、地域、学校、団体との提携による、複製画展の開催 | 各地の自治体、地域、学校、団体等の求めに応じて、複製画展や関連の講演会を開催するとともに、絵本に親しむ機会を設け、読み聞かせ会等を実施した。また、ちひろの願いを伝える平和の絵本の複製画展を、希望する施設、学校、団体とともに開催した。 | | 随時 | みやぎ生協(みやぎ生協文化会館他、宮城県内7カ所)、北本市文化センター、川崎市宮前市民館他 |
| 病院との提携活動 | 季節ごとの病院院内展示・ワークショップ | 来館が難しい病院患者やその家族を対象に、病院内の複製画展を行うとともに、絵本に親しむ機会を設け、各病院からの求めに応じて、院内での読み聞かせ会、水彩技法体験ワークショップ等を実施した。 | | 随時 | 国立成育医療研究センター病院、東京女子医科大学病院、聖路加国際病院、長野県立こども病院、埼玉医科大学総合周産期母子医療センター |

才 絵本等に関する国際交流

| | | | | | |
|-----------------------|------------------------------------|--|------|------------------|------------|
| 海外における展覧会・講演会、ワークショップ | インドにおける、いわさきちひろと日本の絵本展と講演会、ワークショップ | インド、ニューデリーの国際交流基金と共に、ちひろと日本の絵本展を開催し、あわせてワークショップと松方路子による講演を行った。 | 734名 | 12月1日～2016年1月15日 | インド ニューデリー |
| | 中国北京における、絵本関係者との交流活動 | 中国北京で開催された絵本セッションに参加し、竹迫祐子が日本の絵本文化といわさきちひろについて講演を行い、絵本関係者との交流を深めた。 | | 10月20日・21日 | 中国 北京 |

| 事業 | 個別事業名 | 実施内容 | 参加者数 (入館者数) | 備考(実施日、回数、その他 実績) | 実施場所 |
|-------------------------|--|--|----------------------|--|------------------------------------|
| 海外からの研修受け入れと交流 | メキシコ フアブリツィオ・ヴァンデンブロックの視察受け入れ | メキシコの画家であり、出版者でもある同氏の視察を受け入れ、子どもの本の普及活動について協議を行った。 | | 7月3日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | 中国 国立中央美術院 楊忠教授の研修受け入れと交流 | 同氏に絵本と絵本美術館に関する研修を行うとともに、将来的な交流活動について話し合った。 | | 10月30日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | フランス ジャン・クラヴリの来館受け入れと交流 | コレクション画家である同氏を迎え、交流を深めるとともに、当館の絵本歴史資料についての研修を行った。 | | 10月17日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| | 韓国の絵本美術館準備委員への研修 | 韓国で計画されている絵本美術館建設のために同メンバーと交流を深め、同時に、絵本美術館運営についての情報提供を行った。 | | 随時 | 両館 |
| 海外の関係機関とのネットワーク | シンガポールでのAFCC日本年に向けた交流と提携活動 | 2015年のAFCC (Asian Festival of Children's Content)において、平和を願って戦争を描いた日本の絵本について竹迫祐子がセッション発表を行った。また2016年AFCC日本年開催にむけて、国立国会図書館国際子ども図書館やJBBY (Japanese Board on Books for Young People)などとともに準備を進めた。さらに、日本年にむけてAFCCの各国理事20名の視察を受け入れ、交流を行った。 | | 11月8日～10日 | 安曇野ちひろ美術館、国立国会図書館国際子ども図書館、東京子ども図書館 |
| | 絵本と子どもの本の専門機関(IBBY、JBBY、絵本学会)等との提携活動 | 絵本と子どもの本の国際的な専門機関であるIBBY (International Board on Books for Young People)並びに、国内の専門機関であるJBBY、絵本学会等との交流を深め、適時、提携活動を行った。 | | 随時 | 両館 |
| | 海外の図書館などへの、ちひろの絵本の寄贈 | 海外の国際交流基金の図書館などに、ちひろの絵本を寄贈し、普及に努めた。 | | 随時 | 両館 |
| 力 絵本等に関する支援活動 | | | | | |
| 絵本の専門家への支援活動 | 絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援 | 絵本の研究を目指す学生、専門家、また、絵本作家等の絵本の専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを吟味した上で、当財団コレクションの絵本原画、絵本、資料を活かした研究や活動を支援した。 | | 随時 | 両館 |
| | 絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援 | 絵本美術館について学ぶ学生や専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを吟味した上で、当財団の絵本専門美術館の設置・運営に関する経験と実績、資料を活かした研究や活動を支援した。 | | 随時 | 両館 |
| | 関東甲信越静岡地区図書館地区別研修の受け入れ | 文部科学省と長野県教育委員会が主催する中堅司書対象の4日間研修のうちの1日に、地元松川村図書館と協力して「美術館と公共図書館、学校図書館等の連携～松川村のMLA連携実践例から」と題した講義を行い、研修の場を提供した。 | 34名 | 10月7日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| 展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動 | 鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布 | 鑑賞者が作品や作家に興味を持ち、理解を深めるための手助けとして、解説やガイドブック、ワークシート等を作成、配布するとともに、画集や複製画の紹介、頒布等を行い、それらを通して鑑賞を助けた。 | | 随時 | 両館 |
| | 館内での絵本レファレンス、絵本紹介、読み聞かせ指導等 | 絵本の問い合わせ等に隨時対応する他、来館者を対象に絵本の紹介や、読み聞かせの方法等について指導を行った。 | | 随時 | 両館 |
| | 地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ指導等 | 地域の保育園、幼稚園、学校、図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活中で日常的に絵本が楽しめるよう支援した。 | | 随時 | 両館 |
| 地域の子育て支援団体との提携活動 | 地域の子育て支援団体等と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ指導等 | 松川村保健センターと協力し、絵本の出会い事業として、同村の新生児とそのお母さんを対象にファーストブックを贈呈し、絵本の選び方や読み聞かせ等についてアドバイスを行った。 | 延べ54名 | 年6回 | 安曇野ちひろ美術館/松川村地域保健センター |
| その他 | | | | | |
| 生誕100年記念事業 | 生誕100年記念事業の取り組み | 2018年いわさきちひろの生誕100年に向け、大規模ないわさきちひろ生誕100年記念展開催のための準備を開催館と進めるとともに、同展を含め記念事業のための準備を進めた。 | | 通年 | 両館 |
| 被災地支援 | 東日本大震災等、災害支援の取り組み | 東日本大震災の被災証明を提示した来館者は全員無料とした。 | | 通年 | 両館 |
| | | 館内の来館者に対し、被災地支援の義援金を呼び掛けた。 | | 総額: 26,171円 長野県神城断層地震災害義援金 17,083円 2015年ネパール地震救援金 9,088円 | 安曇野ちひろ美術館 |
| 無料入館日 | 無料入館日の取り組み | 美術館が社会に果たす役割についてより広範の人々にアピールすると同時に、実際に来館して親しんでもらうため、入館無料の日を設けた。安曇野館では、近隣市町村の人々により美術館に親しんでもらうため、松本市から白馬村までの近隣市町村ごとと、長野県民対象とした無料入館日を、それぞれに設けた。 | 992名 | 12月13日 | ちひろ美術館・東京 |
| | | | 計867名 | 池田町: 4月12日 大町市: 5月10日 松本市: 6月14日 白馬村・小谷村: 9月13日 生坂村: 11月15日 松川村: 2016年3月6日 長野県: 2016年3月27日 | 安曇野ちひろ美術館 |
| 寄付 | 支援会員(寄付会員)制度の取り組み | 当財団ならびにちひろ美術館(東京・安曇野)の理念を積極的に伝え、世界的にも散逸しやすい絵本原画の収集・保存・研究・展示公開、並びに、絵本の普及や国内外での絵本文化支援活動を支えていただく寄付(1口3,000円)を呼びかけた。 | 会員数293名 新規60名・継続223名 | 総額1,727,600円 | 両館 |
| 収益事業 | | | | | |
| その他この法人の目的を達成するために必要な活動 | ミュージアムショップの運営 | 来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、ミュージアムショップの運営を行った。 | | 通年 | 両館 |

■2015(平成27)年度事業報告 入館者一覧

1. 絵本美術館の設置運営

2015年度の入館者数は、ちひろ美術館・東京 47,766名、安曇野ちひろ美術館133,973名、両館合計で181,739名となった。

■ちひろ美術館・東京

2015年4月～2016年3月 入館者数内訳(月別)

| 月 | 開館日数 | 有料入館者数 | | 無料入館者数 | | | | | | 全入館者数 | 1日平均入館者数 |
|------|------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|----------|--------|--------|----------|
| | | 大人 | 小計 | 中高生 | 小学生 | 幼児 | 支援会員 | 招待者その他無料 | 小計 | | |
| 4 | 26 | 2,525 | 2,525 | 25 | 152 | 276 | 8 | 269 | 730 | 3,255 | 125 |
| 5 | 27 | 4,672 | 4,672 | 54 | 223 | 406 | 7 | 650 | 1,340 | 6,012 | 223 |
| 6 | 25 | 2,830 | 2,830 | 10 | 158 | 302 | 4 | 324 | 798 | 3,628 | 145 |
| 7 | 27 | 4,454 | 4,454 | 298 | 383 | 520 | 8 | 580 | 1,789 | 6,243 | 231 |
| 8 | 27 | 3,757 | 3,757 | 815 | 443 | 427 | 11 | 387 | 2,083 | 5,840 | 216 |
| 9 | 26 | 3,053 | 3,053 | 64 | 146 | 298 | 14 | 434 | 956 | 4,009 | 154 |
| 10 | 26 | 3,756 | 3,756 | 30 | 93 | 270 | 21 | 391 | 805 | 4,561 | 175 |
| 11 | 25 | 2,664 | 2,664 | 21 | 94 | 286 | 13 | 259 | 673 | 3,337 | 133 |
| 12 | 24 | 1,895 | 1,895 | 22 | 234 | 332 | 17 | 1,075 | 1,680 | 3,575 | 149 |
| 1 | 26 | 3,327 | 3,327 | 59 | 166 | 340 | 11 | 284 | 860 | 4,187 | 161 |
| 3 | 27 | 2,274 | 2,274 | 46 | 145 | 346 | 14 | 294 | 845 | 3,119 | 116 |
| 合計 | 286 | 35,207 | 35,207 | 1,444 | 2,237 | 3,803 | 128 | 4,947 | 12,559 | 47,766 | 167 |
| 構成比 | | 73.7% | 73.7% | 3.0% | 4.7% | 8.0% | 0.3% | 10.4% | 26.3% | 100.0% | |
| 昨年合計 | | 34,413 | 34,413 | 1,710 | 2,363 | 3,684 | 155 | 4,641 | 12,553 | 46,966 | 164 |
| 前年度比 | | 102.3% | 102.3% | 84.4% | 94.7% | 103.2% | 82.6% | 106.6% | 100.0% | 101.7% | 101.7% |

* 2015年4月～2016年3月の入館者総数は47,766名(1日の平均入館者数167名)。2014年度に比べ800名の増加(昨年度比101.7%)。また目標数55,000人に対しては7,234名少ない結果となった。

* 入館者の内訳は有料入館者数35,207名(全体の73.7%)、無料入館者数12,559名(全体の25.3%)。

* 入館者全体における割合は、大人(支援会員、その他無料含む):中高生:小学生:幼児が、84:3:5:8。

* 例年通り、敬老の日(9月21日)は65歳以上の方の入館料を無料とした。

* 12月13日に無料感謝デーを実施し、全入館者992名の入館料を無料とした(昨年は1,193名)。

* 年間パスポートの販売数は299枚・747,500円(昨年は268枚670,000円)で昨年度比112%。

リピーターを含む延べ利用者数は1,429名(昨年は1,203名)で昨年度比119%だった。

* 「ぐるっとバス」による入館者数は3,372名(昨年2,711名)で、昨年度比124%、661名の大幅な増加。

利用率自体は、「有料入館者」の9.6%(昨年は7%)、入館者全体の7%(昨年は5.7%)となった。

ぐるっとバス事務局によるインバウンド広報の効果もあり、外国人の利用者も増加している。

* 館としての外国客誘致広報(インバウンド)活動と、アジアのビザ免除対象国増加の効果で、

外国人利用者は年間で約800名となり、昨年度比186%と大きな伸びを見せた。入館数内訳としては、英語話者35.5%、

韓国22.9%、中国本土(中国語簡体字)22.6%、台湾・香港(中国語繁体字)19%で、特にアジア方面からの入館者が急増、それぞれ昨年度の2～4倍の増加となった。

■安曇野ちひろ美術館

2015年4月～2016年3月 入館者数内訳(月別)

| 月 | 開館日数 | 有料入館者数 | | 無料入館者数 | | | | | | 全入館者数 | 1日平均入館者数 |
|------|------|---------|---------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|----------|
| | | 大人 | 小計 | 中高生 | 小学生 | 幼児 | 支援会員 | その他無料 | 松川村招待者 | | |
| 4 | 28 | 5,688 | 5,688 | 100 | 192 | 271 | 1 | 439 | 150 | 1,153 | 6,841 |
| 5 | 28 | 14,184 | 14,184 | 391 | 673 | 635 | 9 | 1,074 | 203 | 2,985 | 17,169 |
| 6 | 28 | 9,038 | 9,038 | 100 | 141 | 235 | 2 | 682 | 148 | 1,308 | 10,346 |
| 7 | 27 | 12,108 | 12,108 | 797 | 608 | 518 | 4 | 1,208 | 220 | 3,355 | 15,463 |
| 8 | 31 | 24,473 | 24,473 | 1,761 | 2,229 | 1,750 | 5 | 1,242 | 460 | 7,447 | 31,920 |
| 9 | 26 | 15,091 | 15,091 | 299 | 511 | 863 | 9 | 1,327 | 209 | 3,218 | 18,309 |
| 10 | 29 | 13,618 | 13,618 | 143 | 202 | 399 | 4 | 1,222 | 213 | 2,183 | 15,801 |
| 11 | 28 | 9,937 | 9,937 | 86 | 281 | 470 | 3 | 618 | 172 | 1,630 | 11,567 |
| 12 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 73 | 0 | 73 | 73 |
| 3 | 29 | 4,902 | 4,902 | 142 | 257 | 331 | 8 | 610 | 234 | 1,582 | 6,484 |
| 合計 | 255 | 109,039 | 109,039 | 3,819 | 5,094 | 5,472 | 45 | 8,495 | 2,009 | 24,934 | 133,973 |
| 構成比 | | 81.4% | 81.4% | 2.9% | 3.8% | 4.1% | 0.0% | 6.3% | 1.5% | 18.6% | 100.0% |
| 昨年合計 | | 116,554 | 116,554 | 3,483 | 5,883 | 5,584 | 54 | 7,974 | 2,287 | 25,265 | 141,819 |
| 前年度比 | | 93.6% | 93.6% | 109.6% | 86.6% | 98.0% | 83.3% | 106.5% | 87.8% | 98.7% | 94.5% |
| | | | | | | | | | | | 90.1% |

* 2015年4月～2016年3月の入館者総数は133,973名(1日の平均入館者数525名)。2014年度に比べ7,846名の減少。(昨年度比94.5%)また目標数173,000人に対しては39,027人少ない結果となった。

* 4月～6月の入館者合計は34,356名で昨年度比86.2%、7月～9月の入館者合計は65,692名で昨年度比95.9%、10月～3月の入館者合計は33,925名で昨年度比101.4%。

* 入館者の内訳は、有料入館者数109,039名(全体の81.4%)、無料入館者数24,934名(全体の18.6%)。

* 入館者全体における割合は、大人(支援会員、その他無料、松川村含む):中高生:小学生:幼児が、89:3:4:4。

* 例年通り、敬老の日(9月21日)は65歳以上の方の入館料を無料とした。

* 2015年度は、白馬から松本までの各市町村ごとの入館無料デーを実施した。

(4月12日 池田町、5月10日 大町市、6月14日 松本市、9月13日 白馬・小谷村、11月15日 生坂村、3月6日 松川村)

また、3月27日には、長野県民入館無料デーを実施し、各市町村、県内から、合わせて867名が来館した。

* 旅行会社等のクーポン利用者数は11,816名。有料入館者全体に対してのクーポン利用率は10.8%(昨年は10.6%)。

* 12月1日はトトちゃん広場オープンに向けて、パートナーさん募集のための内見会を開催し、観光関係者を中心に73名が来館した。

* 外国人の団体入館者数は、881名となり、年々増加している(昨年度比107%)。特に、台湾からのツアー客が多かった。

7

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

■2015(平成27)年度事業報告書の附属明細書

当財団の事業報告書については、附属明細書に該当する事項がないため、附属明細書を省略する。